

アステラス製薬株式会社

－記者懇談会－

2008年12月3日

代表取締役社長 野木森 雅郁



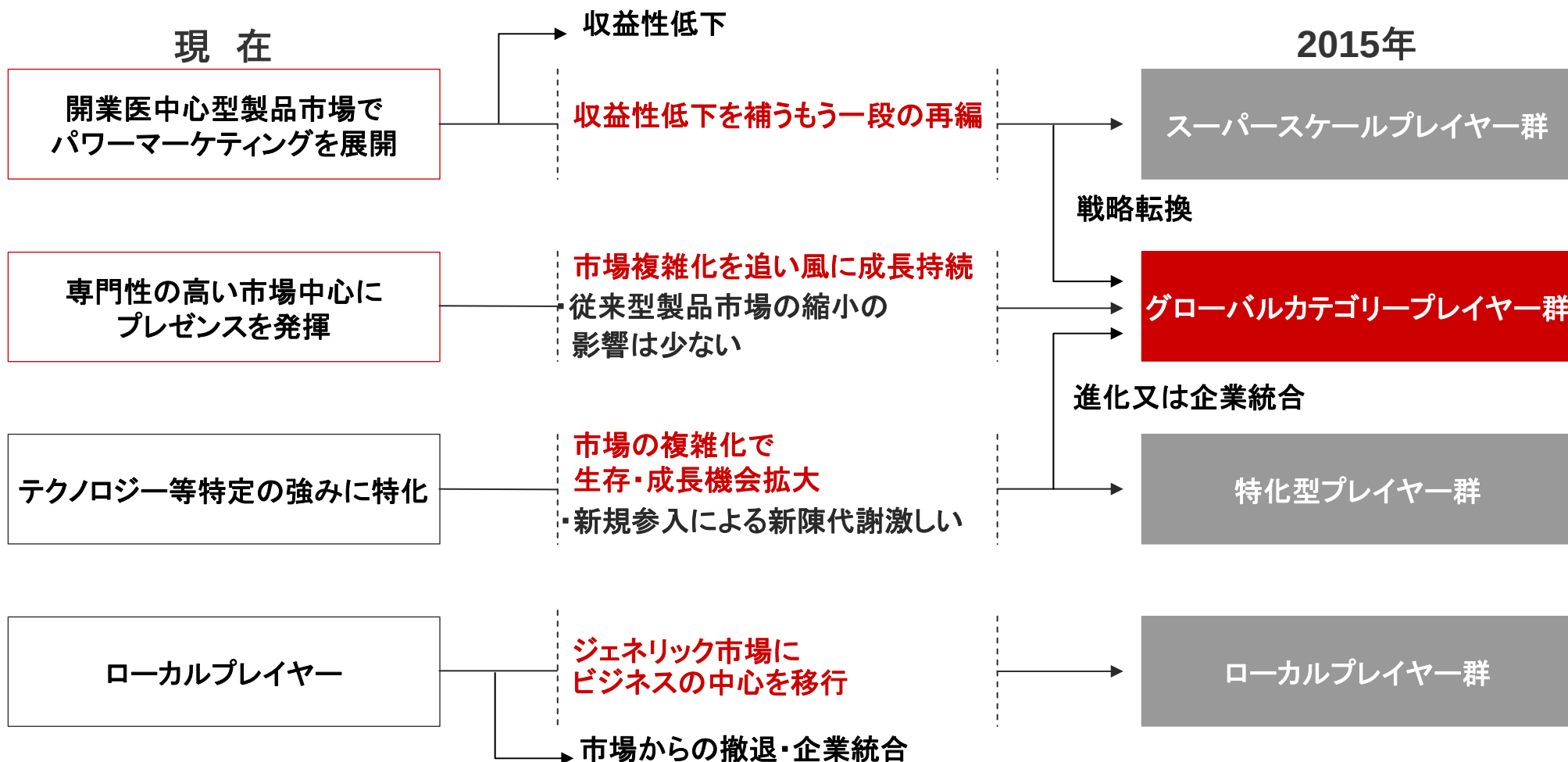
アステラスの長期戦略・・・VISION 2015

- グローバル・カテゴリー・リーダー(GCL)実現に向けた取り組み
 - 強固なビジネス基盤の確立
 - 製品創出力の向上
 - GCLを目指す3つの仕組み
- 「明日は変えられる。」 アステラスのメッセージ

アステラスの長期戦略・・・VISION 2015

- グローバル・カテゴリー・リーダー(GCL)実現に向けた取り組み
 - 強固なビジネス基盤の確立
 - 製品創出力の向上
 - GCLを目指す3つの仕組み
- 「明日は変えられる。」 アステラスのメッセージ

VISION2015で想定するプレイヤー像



■ 専門性の高い市場を主戦場とするプレイヤーは成長を持続する可能性が高い

Global Category Leader

アンメットニーズが高く、製品をお届けするプロセスに高い専門性が必要とされる複数の領域「**カテゴリー**」で、
「**グローバル**」に高付加価値の製品を提供することで、競争優位を構築し、
カテゴリーでの「**リーダー**」としての存在を確立する。

GCLを実現するための2つの戦略と3つの仕組み

2つの戦略：強固なビジネス基盤の確立/製品創出力の向上

3つの仕組み：マネジメントコントロール/人的資源活用/CSR経営

VISION2015のロードマップ



2008年度の主なマイルストーン

- ★トルコ販社設立 ★インド販社設立
- ★レキシキャン米国新発売
 - ★マイカミン欧州新発売
 - ★イリボー国内新発売
 - ★グラセプター国内新発売
 - ★米国グラントアイランド工場譲渡
- ★Agensys買収 ★CoMentis社とライセンス契約
 - ★Maxygen社とライセンス契約
 - ★つくば研究センター 新棟完成
- ★グローバル経営体制強化・グローバル開発機能本社設立

アステラスの長期戦略・・・VISION 2015

■ グローバル・カテゴリー・リーダー(GCL)実現に向けた取り組み

- 強固なビジネス基盤の確立
- 製品創出力の向上
- GCLを目指す3つの仕組み

■ 「明日は変えられる。」 アステラスのメッセージ

2008年度 通期業績予想

(億円)

	2007年度 実績	2008年度通期 修正公表	増減	2008 年度通期 期初公表	公表差異
売 上 高	9,725	9,640	-85	9,620	+20
営 業 利 益	2,759	2,350	-409	2,320	+30
経 常 利 益	2,841	2,590	-251	2,460	+130
当 期 純 利 益	1,774	1,620	-154	1,590	+30
研 究 開 発 費	1,344	1,590	+255	1,610	-20

- － 製品ごとの売上高および費用の見直し、下期想定為替レート変更により、連結売上高および各利益段階とも、期初公表数値を上方修正
- － 日本は、薬価引下げの影響を吸収し、増収の見通し
- － 北米、欧州、アジアは、現地通貨ベースでは増収を見込むが、為替の影響により円換算では減収の見通し

グローバル営業体制の強化

日本

国内No.1

既存品維持・拡大
新製品の継続投入

北米

Transforming

プログラフ高依存
からの変革
フランチャイズ領域の拡大

欧州

継続成長

感染症ビジネス立上げ
販売地域の拡大

アジア

自販体制の拡充

中国市場の拡大
移植・泌尿器の
維持・拡大

泌尿器

移植

感染症

New GCL

循環器

皮膚科

消化器

New GCL候補
炎症・免疫、糖尿病、
中枢・疼痛、癌

事業エリアの拡大

欧州

■ トルコ販社設立

- 所在地:トルコ、イスタンブール
- 2008年6月より、営業活動スタート
- 現在、プログラフを販売



新興市場への事業エリア拡大

アジア

■ インド販社設立

- 所在地:インド、ムンバイ
- 2008年11月設立
- 移植・泌尿器などの製品を順次投入
プログラフ 2009年度中に販売
開始予定



アステラスの長期戦略・・・VISION 2015

■ グローバル・カテゴリー・リーダー(GCL)実現に向けた取り組み

- 強固なビジネス基盤の確立
- 製品創出力の向上
- GCLを目指す3つの仕組み

■ 「明日は変えられる。」 アステラスのメッセージ

■ 研究機能の集約(2009年中予定)

- 探索・最適化研究機能のつくば地区集約
御幸が丘研究センターに新棟完成(2008年9月)
- 開発研究機能の大阪・加島事業所への集約



研究の高質化
と
スピード化

■ アカデミアとの研究提携

- 京都大学との「次世代免疫制御を目指す創薬医学融合拠点」による協働研究
2007年10月京都大学内に研究拠点が完成し、研究スタート
- iPS細胞医療応用加速化プロジェクト
2008年11月 京都大学 山中教授を中心とする産学連携プロジェクトに参画

グローバル研究体制

探索研究

最適化研究

開発研究

日本

醗酵研究所

分子医学研究所

化学研究所

代謝研究所

創薬推進研究所

安全性研究所

薬理研究所

開発薬理研究所

アステラスリサーチテクノロジー

日本：研究機能集約

探索・最適化研究
つくば(茨城県)

開発研究
加島(大阪)

欧州

Astellas Pharma
Europe(オランダ)

米国

Astellas Research
Institute of America

Urogenix

Agensys

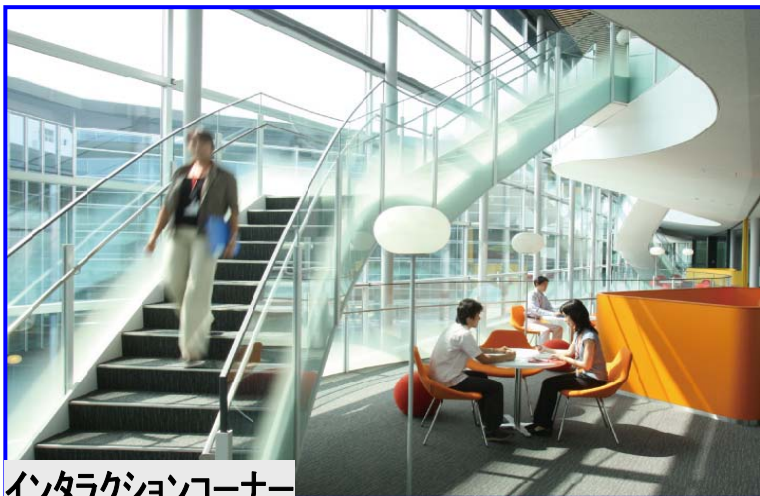


つくば研究センター(御幸が丘)新棟 (1)



*研究所写真は、三輪晃久写真研究所撮影

つくば研究センター(御幸が丘)新棟 (2)



インタラクションコーナー



最新研究設備



研究棟夜景



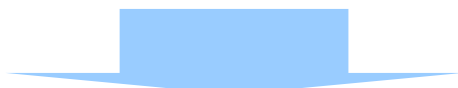
化合物自動保管倉庫

■ 社内研究体制の整備

- 分子医学研究所を中心に抗体医薬研究始動
分子医学研究所 バイオ創薬研究室の設置(2007年10月)

■ 技術導入

MophoSys社 提携(07年3月)	ファージ抗体ライブラリー
Regeneron社 提携(07年3月)	完全ヒト型モノクローナル抗体作製技術(Vマウス)
Agensys社 買収(07年12月)	完全ヒト型モノクローナル抗体作製技術 (ハイブリドーマ作製関連技術)
癌の独自標的分子及び開発抗体の取得	

- 
- 抗体医薬作製に関する一連の技術を整備・強化
 - Agensys由来プロジェクト:フェーズ1に2つのプロジェクト進行中

この1年間の開発プロジェクトの進展

	日本	米国	欧州
発売	イリボー (08年10月) 過敏性腸症候群		
	グラセプター (08年10月) 免疫抑制剤	レキスキャン (08年6月) 心機能検査補助剤	マイカミン(08年8月) 注射用抗真菌剤
	ケアロードLA (07年12月) 肺動脈性高血圧症		
承認		バプリゾールPremix製剤 (08年10月)低ナトリウム血症	
申請	FK506(08年9月) (全ての)重症筋無力症		
	FK506(08年6月) 潰瘍性大腸炎		

パイプライン強化のための製品導入

この1年間の導入案件

移植領域

■Maxygen社(米国)とのライセンス契約締結

締結年月：2008年9月

契約内容：臓器移植時の拒絶反応抑制ならびに自己免疫疾患治療剤の開発プログラムであるMaxy-4について、全世界での開発・商業化に関するライセンス契約

中枢領域

■CoMentis社(米国)とのライセンス契約締結

締結年月：2008年4月

契約内容：アルツハイマー型認知症治療薬として期待されるCTS-21166を含むBACE阻害剤について、全世界での独占的な共同研究、開発・商業化に関するライセンス契約

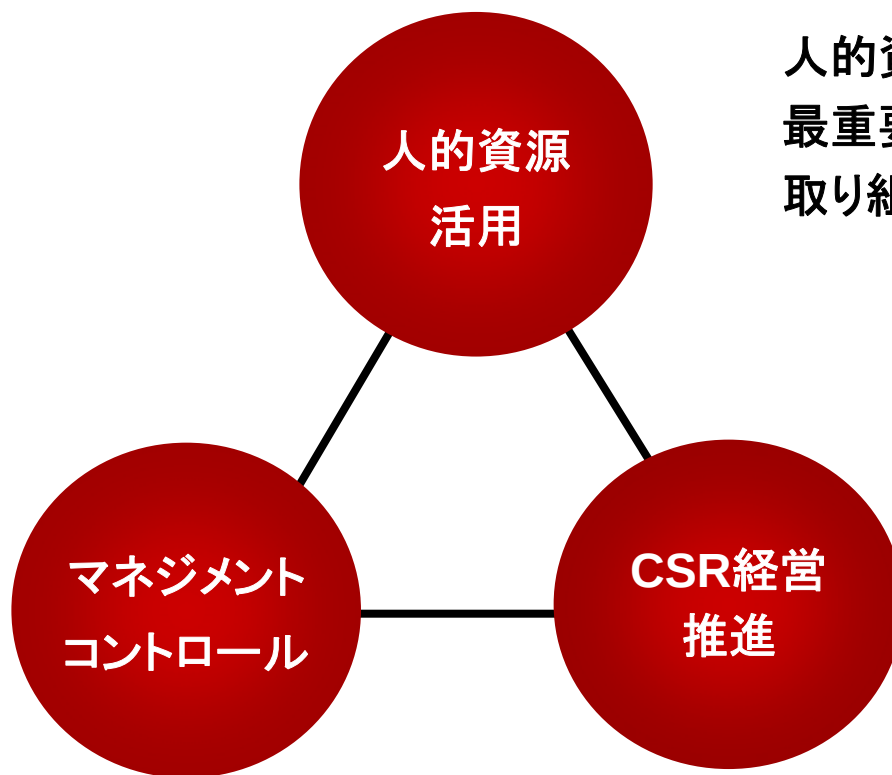
アステラスの長期戦略・・・VISION 2015

■ グローバル・カテゴリー・リーダー(GCL)実現に向けた取り組み

- 強固なビジネス基盤の確立
- 製品創出力の向上
- **GCLを目指す3つの仕組み**

■ 「明日は変えられる。」 アステラスのメッセージ

GCLを目指すための3つの仕組み



人的資源の充実をアステラスの最重要課題と位置付け意欲的な取り組みと投資を行なう

最適な権限バランスにより、柔軟で機動性に富む組織を作り上げる

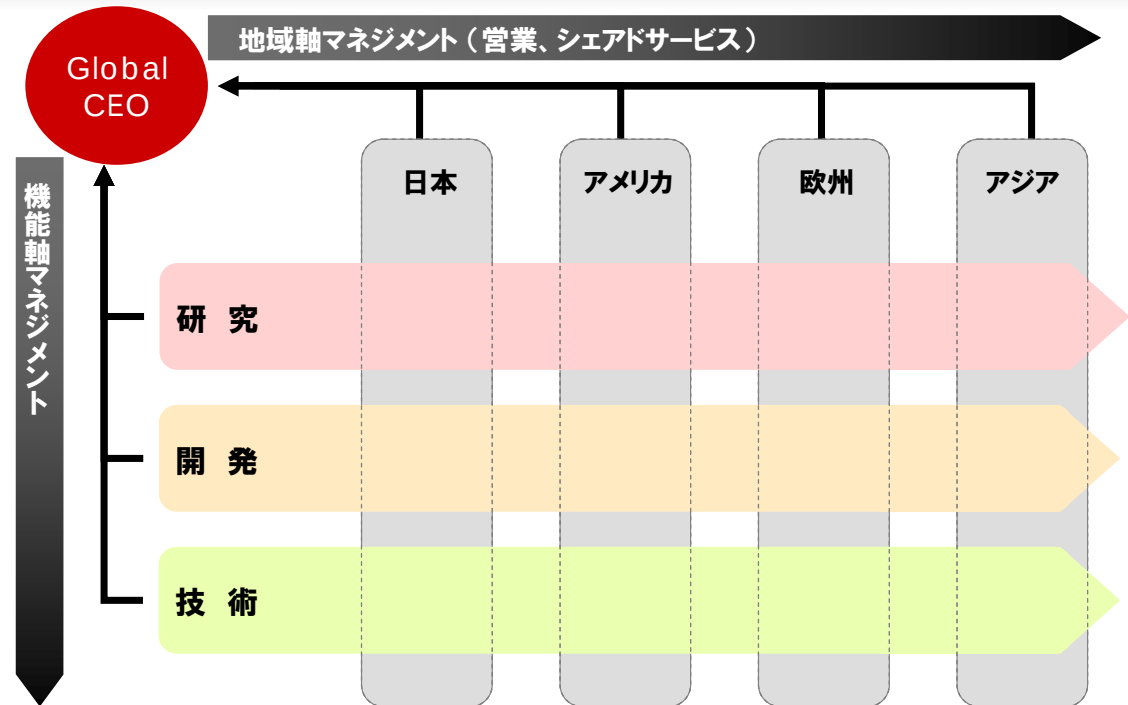
アステラスの社会的責任を明確にし、それを果たすための仕組みを構築する

グローバル経営体制の強化

マトリックスマネジメント 体制の強化



機能軸：研究、開発、技術
地域軸：営業、シェアドサービス



■新しいグローバル経営体制（2008年4月～）

- グローバル経営会議新設
- 財務経営管理会議新設
- グローバル開発本社機能を有する新会社設立
(Astellas Pharma Global Development, Inc.)

ダイバーシティ(多様性)の視点に立った企業風土作りへの取り組み

■ WINDプロジェクトの推進 (WIND: Women's Innovative Network for Diversity)

「女性の活躍」を考えることを出発点に据え、女性がもっと活躍できる環境、意識、風土を整えていくための具体的施策を検討・推進

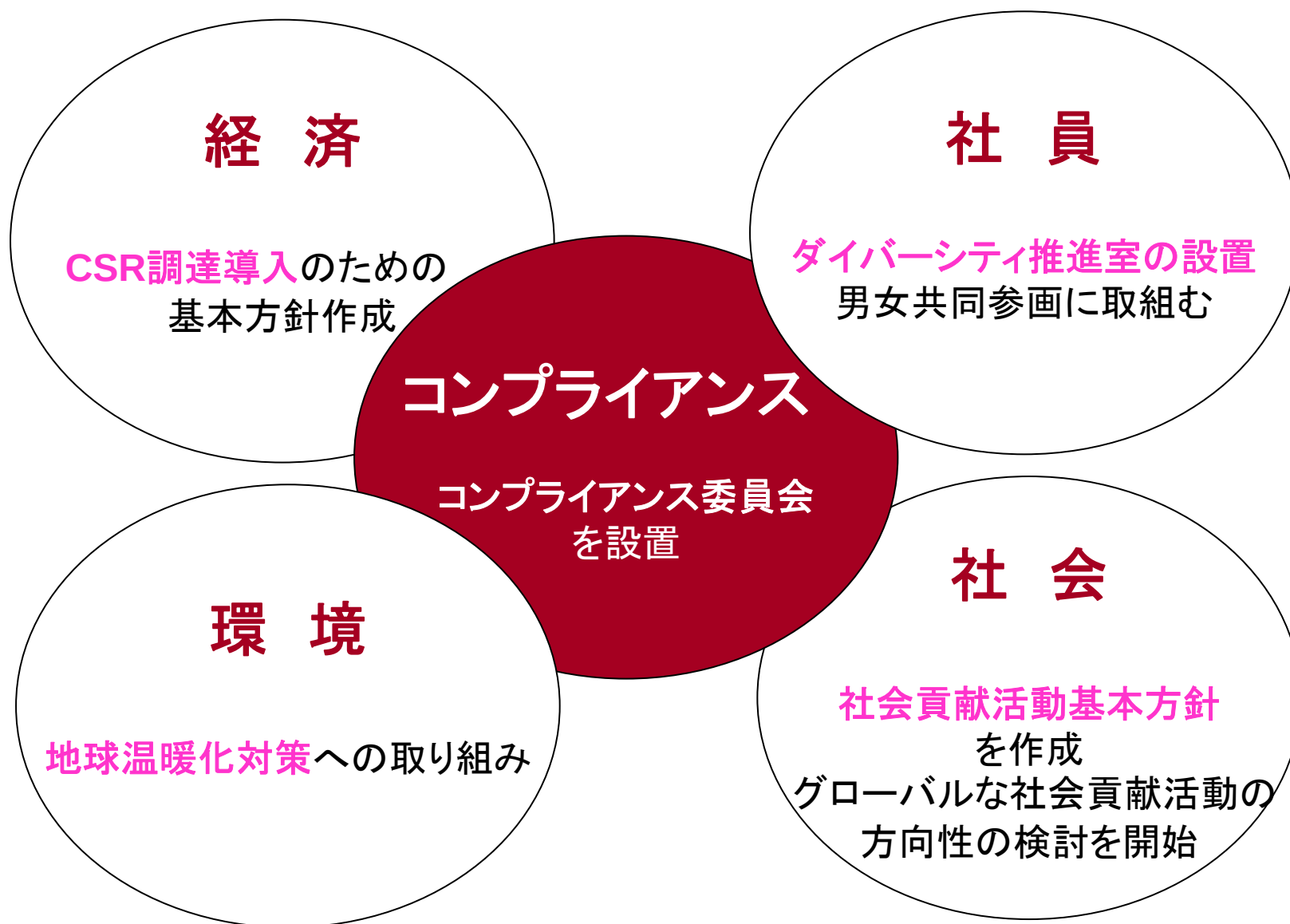


ダイバーシティ推進室の設置(2008年7月)

–専任体制(5名)のもと、強力に推進



CSR経営のフィールドと概念図



CSR: 日本での社会貢献活動

チャイルドブックプロジェクト

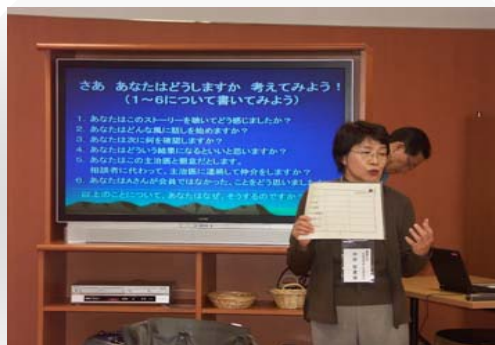
「あしたことりのこえでめがさめたら」

作・絵 accototo(ふくだとしお+あきこ)

現在活躍中の絵本作家が「明日は変えられる。」をテーマに作成した夢のある絵を、WEBサイト上に1ヶ月に1枚ずつ、12ヶ月に亘って掲載します。その後、掲載された12枚の絵で絵本を製作し、小児科医院などの医療機関や福祉施設の子供たちの元にお届けします。



患者会支援



今年で3年目。公募制の活動資金助成、ピアサポーター養成基礎研修等

救急車寄贈



今年も4台の救急車を寄贈
1970年からの累計は212台

フライングスター基金



社員とのマッチングギフト方式で、今年も7台の車椅子送迎車を寄贈

中国四川省大地震(5月)や岩手・宮城内陸地震(6月)発生時に、義援金による復興支援を実施

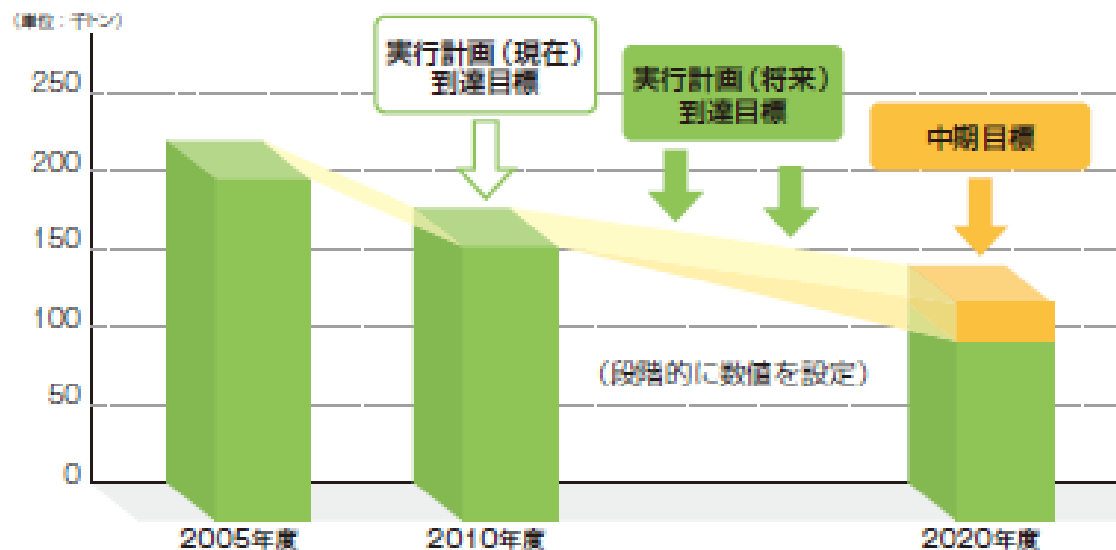
- **National Science Teachers Association (NSTA: 世界最大の理科教諭団体) への支援**
 - シカゴ地域にAstellas New Science Teacher's Academyを設立し、15人の理科教諭にスカラーシップを提供

- **Project Sunshine (病気の子どもに様々な支援を提供する非営利団体)、Boys and Girls Club of Lake Countyとの協力**
 - アステラスUSのホリデーパーティーでおもちゃを作製し、上記団体を通じてシカゴ地域の子どもたちに提供

Save the Children (StC): 援助を必要とする子どもたちのための国際援助団体を通じた支援

- 2008年5月のミャンマーでのサイクロン被災者に対し、アステラスはStCを通じて52,000人分を超える衛生物資を提供
- 14年間に亘る市民戦争が続くリベリアにおいて、アステラスはStCを通じて、35,000名以上のはしか・麻疹ワクチン接種、47,000名以上のBCG・DPT・ポリオ等のワクチン接種に貢献

■ 地球温暖化対策に中期目標設定(達成年度:2020年度)



- 全部門にまたがる省エネルギー活動を推進
 - － 省エネルギー営業活動の推進(ハイブリッド車の導入)
 - － オフィス、物流対策
- 本社に「地球温暖化対策会議」を設置予定
 - － 本社、事業所、従業員の役割りを明確にした活動
 - － 事業所再整備、省エネ・新エネ設備の導入、技術開発
 - － 経済的手段の検討(排出権取引等)

アステラスの長期戦略・・・VISION 2015

■ グローバル・カテゴリー・リーダー(GCL)実現に向けた取り組み

- 強固なビジネス基盤の確立
- 製品創出力向上
- GCLを目指す3つの仕組み

■ 「明日は変えられる。」 アステラスのメッセージ

明日は変えられる。

患者さんとその家族にとっては、
病気という困難を乗り越えていく勇気と希望のことばです。

いちどは治らないと、あきらめた病気が治ったとき、
いちどは越えられないと、断念しようとした壁を越えられたとき、
その患者さんの目の前に、昨日までとはまったく違う人生がはじまる。
昨日までとはまったく違う自分がはじまる。

私たち一人ひとりにとっては、
Unmet Medical Needsを満たし、ほんとうに求められる新薬づくりに挑戦する、
アステラスグループの、社員一人ひとりの決意のことばです。

同時に、病気と闘うすべての人々と勇気・希望を共有することばでもあり、
私たち自身の未来も変えて行けるという意味も含んでいます。

アステラスのメッセージ

明日は変えられる。

明日がある。そのよるこびも暮りたい。

病氣と闘うすべての人々に。

ほんとうに迷われる新薬で。

日本最、世界の医療用医薬品企業として。



www.astellas.com/jp/



**1万9816回の失敗は、
自分のために。
最後の1回の成功は、
患者さんのために。**

創薬で明日という名のパンを焼けた。

アステラス製薬株式会社
www.astellas.com/jp/



**人に信頼される薬は
人にしかつくれない。**

創薬で明日という名のパンを焼けた。

アステラス製薬株式会社
www.astellas.com/jp/



**薬って、
本当に必要なんだろうか。**

創薬で明日という名のパンを焼けた。

アステラス製薬株式会社
www.astellas.com/jp/

明日は変えられる。

病氣が教えてくれたこと。

青空が 輝いていた

花の 香りがする

ごはんが おいしい

それは あたりまえのことなのに

とくべつなこと だと感じた

つないだ手が あたため

だれかの笑い声が きこえる

「ありがとう」って いいようになった

「ごめんね」って いえるようになった

「だいすき」って いえる気がした

生きるって すばらしい

大切なものを 奪おうとする病氣は

それを乗り越えていく人に

大切なことを 教えてくれる

病氣と向き合い

困難を乗り越えながら

私たちも 多くのことを学んでいます

そして「薬づくり」に活かしています

病氣と闘うすべての人々が

これから求める新薬を つくるために

生きるって すばらしい

それは あたりまえのこと だから

とくべつなこと だから

明日は変えられる。

 **astellas**
Leading Light for Life
アステラス製薬

www.astellas.com

病氣のこと、もっと知りたいあなたへ。ウェブサイトが新しくなりました。 [こちらからご覧下さい](#)

CARDIOLOGY
DERMATOLOGY
IMMUNOLOGY
INFECTIOUS DISEASE
UROLOGY



Changing tomorrow

Inspired by the vision of a healthier world





Changing tomorrow

Lorem ipsum dolor sit amet, at quis. In duis sit urna sed proin ac, tortor a erat nullam morbi urna, metus litora euismod tristique mi dolor, ipsum morbi nec condimentum.

Congue ut et proin nulla aenean justo. Aliquam vel aptent, elit quam cras massa suscipit vitae, tristique amet ultricies malesuada nisi luctus bibendum, condimentum eleifend purus pede iaculis facilisis. Venenatis ante, praesent massa quam aenean.

Urn quis erat purus mauris pellentesque. Potenti non vel mi tristique curabitur, augue lorem wisi nisl sociis ac tristique, laoreet congue nunc morbi vehicula auctor. Luctus lobortis

www.astellas-europe.co.uk Astellas Pharma Ltd Lovett House Lovett Road Staines Middlesex TW18 3AZ UK 01 784 419 615

TRANSPLANTATION
UROLOGY
DERMATOLOGY
ANTI-INFECTIVES

 **astellas**
Leading Light for Life